「29年度 児童・生徒学生顕彰式」

スポーツや文化で活躍した88人、24団体を顕彰

体育・文化で好成績

市内には、高みを目指し、努力を習慣にしている期待の星がたくさんいる。2月3日、市役所で行われた「29年度児童生徒学生顕彰式」は、市内の学校に在学する児童生徒、学生の個人と団体を、年度ごとに顕彰するものだ。同日、スポーツや文化で優秀な成績を収めた児童、生徒、学生(88人、24団体)が勝部修市長から記念の盾を受け取った。

勝部市長は「目標を定め、一つ一つ着実に達成してほしい。家族、指導者や仲間への感謝の気持ちを忘れず、これからも精進してください」、小菅正晴教育長は「失敗は成功のもと。失敗を恐れず、最善を尽くすことが大事。一流の人を目指してほしい」とそれぞれ激励した。

受賞者を代表して南小6年の及川昴君は「走り高跳びで全国6位になった。自分だけの力ではなく、教えてくれた人や家族のおかげだと思う。中学校では全国優勝を目指したい」と、さらなる飛躍を誓った。受賞者は次のとおり。(敬称略)

●個人の部【小学生】

◇一関▼西上こはる(2年)スポーツチャンバラ▼伊東素希(3年)水泳▼梶原渓太(同)同▼瀧澤裕成(同)同▼前野天龍(同)空手道▼藤野蓮生(同)マラソン▼菊池桃和(同)水泳▼松村優介(4年)同▼佐藤碧田奈(同)同▼瀧澤千尋(5年)同▼大前有美(6年)かるた▼茂庭ナミ(同)走り高跳び▼加藤蓮都(同)空手道

◇山目▼小野寺凛(3年)独唱▼佐藤柚希(同)水泳▼小野寺愛乃(4年)同

◇赤荻▼柴田望有(4年)ソフトテニス

◇中里▼寺澤蒼士(4年)空手道▼菅原至恩(5年)将棋▼谷口颯空(同)水泳

◇南▼前田妃希(2年)水泳▼佐藤磨生(3年)同▼及川祥(4年)一輪車▼草沢瑞稀(同)同▼鈴木詩乃(同)ソフトテニス▼細川敦人(同)水泳▼佐藤陽琉(5年)同▼前田望羽(同)同▼及川昴(6年)走り高跳び▼佐々木真(同)走り幅跳び▼佐藤李香(同)水泳

◇厳美▼菅原菜乃春(4年)卓球▼阿部ゆうり(同)習字▼遠藤唯桜花(5年)卓球

◇花泉▼関絢翔(4年)トランポリン

◇老松▼辻山來希(1年)交通安全ポスター▼増田柚樹(2年)読書感想文

◇川崎▼金野夏凜(6年)ジャベリックボール投げ

◇藤沢▼佐藤羽結(3年)水泳

【中学生】

◇一関▼鈴木英(3年)スキー

◇磐井▼千葉心(1年)体操▽辻山小珀(同)水泳▼千田滉司朗(2年)同▼尾形紘介(3年)同▼瀬川結理(同)同▼千葉あんな(同)同▼村上珠慧(同)柔道

◇桜町▼及川菜々恵(1年)水泳▼松村優香(同)水泳▼菊池幹大(2年)水泳

◇花泉▼岩沼唯翔(2年)柔道

◇大原▼小山莉紗(2年)砲丸投げ

◇大東▼伊東明香(2年)卓球▼佐藤瑠衣(同)同▼岩渕蓮(同)陸上

◇千厩▼佐藤悠(2年)バドミントン▼伊藤駆(同)同▼藤村廉大(同)同

◇東山▼菅原さくら(2年)通信陸上▼那須玲奈(3年)水泳

◇藤沢▼佐々木玲奈(3年)文化祭スローガン

【高校生】

◇一関第一▼佐藤凜(1年)かるた▼辻山歩夢(同)水泳▼小山賀子(2年)将棋▼佐々木優衣(同)書道▼千葉すみれ(同)水泳▼千葉澪奈(同)詩▼及川慈子(3年)小説▼大友美侑(同)読書感想文

◇一関第二▼佐藤琴美(1年)フェンシング▼阿部風槙(2年)同▼佐藤龍(同)同▼木村里奈(3年)同▼千田和斗(同)同▼千葉亜紗美(同)同

◇一関工業▼岡本翔(2年)弓道▼佐藤駿平(同)同▼菅原拓巳(3年)陸上

◇一関学院▼岩渕麗楽(1年)スノーボード▼和賀美月(2年)柔道▼下舘真樹(3年)陸上

◇千厩▼千葉樹(3年)陸上

【学生】

◇一関工専▼祖利目大晟(2年)テニス▼伊藤望(3年)バドミントン▼小野寺健哉(4年)同▼菊地文耶(5年)陸上▼小原航洋(同)同

●団体の部【小学生】

▼関小ヤンキーズスポーツ少年団:ソフトボール▼大東ブルースターズソフトボールスポーツ少年団:同▼興田スポーツ少年団バレーボール:バレーボール▼東山小学校4年1組:新聞コンクール

【中学生】

▼厳美中男子卓球部:卓球▼花泉中ソフトボール部:ソフトボール▼大東中ソフトボール部:同▼大東中女子卓球部:卓球▼大東中陸上競技部:リレー▼千厩中男子バドミントン部:バドミントン▼藤沢中ソフトボール部:ソフトボール

【高校生】

▼一関一高競技歌留多部:かるた▼同囲碁将棋部:将棋▼同英語研究部:英語ディベート▼一関二高フェンシング部男子:フェンシング▼同フェンシング部女子:同▼一関工業弓道部:弓道▼同男子バスケットボール部:バスケットボール▼一関学院陸上競技部:駅伝▼同女子バスケットボール部:バスケットボール▼一関修紅バレーボール部男子:バレーボール

【学生】

▼一関工専電子計算機部:プログラミング▼同機械技術部:ロボットコンテスト▼修紅短大女子バレーボール部:バレーボール

選手を支える家族の絆

トップを目指して、ひたすら練習に打ち込む選手たち。その活躍の裏には家族の支えがある。岩渕麗楽さんの父和宏(かずひろ)さんと母恵里香(えりか)さんは、仕事帰りの車内で娘の五輪代表選出の報を聞き、うれし泣きしたという。

充実した練習環境を求め、福島県北塩原村の猫魔スキー場に片道4時間の道のりを毎週車で通い、家族で車中泊して技を磨いた。恵里香さんは「大変だったけれど、娘の成長を見守ることができた。続けられたのは、娘のやりたいという意欲を感じたから。コーチ役は夫。自分は、動画で撮影したり、食事で体調を整えたりと裏方に徹しています」とほほ笑んだ。

選手の数だけ家族の支えがある。子供たちの可能性を開花させるには家族の絆が大切だ。

岩渕恵里香さん

岩渕麗楽さんの母。娘の頑張りを誰よりも応援している